

令和元年度 磐田市立磐田西小学校 学校評価書

(児童の評価90%以上をA)

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
学びづくり	<p>○ 学びの実感を大切に、確かな学力を身に付けた子どもを育てる。</p> <p>○ 聴き合い・学び合う子どもを育てる。</p> <p>○ 自分の課題を一心に追究する子どもを育てる。</p>	学校生活が、楽しいか。	A	<p>○重点目標を意識し、職員が共通理解して充実した指導を行うことができた。</p> <p>○「聴き合い、学び合う」ことができる児童を育てるという目標に対し、①「学んだことが身に付いているか」、②「授業の内容が分かる」、③「先生は分かりやすく教えてくれているか」という項目がA評価になっている。子どもたちが主体的に学習に取り組み、学び合って授業を受けていることを実感できている。(①90%、②91%、③96%)</p> <p>○外国語が専科教員による授業となったことで、子どもたちが楽しく学べていることが分かる。(91%)</p> <p>○「自分ががんばったことやできたことを先生はほめてくれているか」の項目がA表ということで、教員と子どもの信頼関係が築けていることが分かる。(93%)</p> <p>※「分からないことは人に聞いたり、自分で調べたりして学習している」という項目については、自分で追究して学ぶという習慣が十分ではないことを子ども自身が実感している。どのように学習を進めていけばよいかを、子どもたちに丁寧に指導していく必要がある。</p> <p>※家庭学習に関しては、どのような傾向なのかを具体的に見取り、指導していくことは難しい。しかし、児童が取り組む質・量について、各学年児童の発達段階と実態を考慮していく必要がある。</p> <p>※「中学校での学習を楽しみにしているか」の項目については、毎年子どもが異なるので、単純比較は難しい。小中一貫教育の取組を充実させることで、中学校生活への期待がもてるような声掛けや実践を進めていく必要がある。</p>	学校へ楽しく通えていることが何よりである。
		学んでいることが自分の力として身に付いているか。	A		○先生や周りの友達に認められ、温かい雰囲気の中で安心して生活できているよ。
		家庭学習を必ず決めた時間に取り組んでいるか。	B		○どの学級でも、落ち着いて授業が進められているよ。
		授業で学習している内容が分かるか。	A		○評価が高い項目はこの状態を維持できるといいが、それでも評価が低い子どももいるので、その子どもたちがそのままにされない丁寧な指導をお願いしたい。
		分からないことは人に聞いたり、自分で調べたりして学習しているか。	B		○外国語の授業を楽しみにしている児童が多いようなので、今後も子どもたちが意欲的に取り組める授業をお願いしたい。
		中学校での学習や生活を楽しみにしているか。	B		○子どもたちの評価が高く、親や教員の評価が少し下がっているという評価が理想である。先生方には、一層の丁寧な指導をお願いしたい。
		先生は、分かりやすく教えてくれているか。	A		
		自分ががんばったことやできたことを先生はほめてくれているか。	A		
		先生や友達の話を目と耳と心で聴いているか。	A		
心づくり	<p>○ 約束を守り、当たり前が丁寧のできる子どもを育てる。</p> <p>○ 温かい言葉の交流ができる子どもを育てる。</p> <p>○ 安心できる空間づくりをする。(一人一人の心のケアを進める。)</p>	相手の気持ちを考えた、温かな言葉づかいをしているか。	A	<p>○「温かな言葉遣い」については、子どもたちは昨年度のB評価(88%)からA評価(90%)にアップしている。しかし、子どもの意識と保護者・教員の意識が異なるので、子ども同士のかかわりを大切にしたい指導を継続していきたい。</p> <p>○縦割り活動や異学年交流の中の遊びでは、高学年を中心に笑顔で関わり合う姿が見られた。異学年の友達への接し方を学んだり、互いのよさを感じ取ることを子どもたちが実感できていると考えられる。</p> <p>○「学校で相談できる人がいるか」の項目がA評価ということで、子どもたちが安心して学校生活を送れていることが分かる。学びづくりの項目の「自分ががんばったことやできたことを先生はほめてくれているか」の項目の結果との整合性も取れている。</p> <p>※「私たちのクラスには、互いにルールを守り、協力しようとしているか」の項目が、昨年度から継続してB評価となっている。しかし、昨年度とほぼ同様な数値(88%)となっているので、子どもたちのとらえ方に大きく変化はない。しかし、人間関係づくりの苦手な児童も見られるので、注意深く見守り、丁寧な指導を心掛けたい。</p>	○学校生活の中で、異学年の子どもとのつながりを大切にしていることが分かる。
		縦割り活動(ひまわり集会・ひまわり遊びなど)を楽しんでいるか。	A		○学校の中に相談できる人がいるという項目の評価が高いのは安心できる。
		靴を整頓したり、時刻を守ったりして生活しているか。	B		○地域の歴史や自然に関心があるという項目の評価が今一つなのは、親や大人の世代の影響があるのかもしれない。保護者や地域など、大人とのかかわりを大切にしていきたい。
		朝の会や集会、会礼などで、自分から声を出し、楽しんで歌っています。	B		○あいさつについては、個人差が大きい。子どもから返ってこなくても、大人があいさつすることが大切だと思う。
		私たちのクラスは、互いにルールを守り、協力しようとしているか。	B		○あいさつの評価が、子どもと親、教員と差があるのが気になる。特に、子どもと教員の差が大きいのは、疑問を感じる。あいさつの大切さを、大人が姿で示していくことが大切だと思う。
		学校に相談できる人(先生や友達)がいるか。	A		
		進んで気持ちよくあいさつをしているか。	B		
		他校の先生や友達と交流することのよさを感じているか。	A		
		今住んでいる地域の歴史や自然に関心があるか。	B		
早寝、早起きができ、必ず朝ご飯を食べているか。	A				

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校評価アンケートの結果を通して、様々な視点から御意見をいただいた。子どもたちが安心して、楽しく生活できている現状を理解していただいた。今取り組んでいる西小学校の取組が間違っていないことを実感することができ、今後に向けての励みとなった。アンケートを通して評価がよいと、とかく安心してしまいが、中には満足していないなかったり、困っている子も必ずいるはずなので、結果にとらわれず、学校としての取組を確実に振り返り、今後の指導を改善していく真摯な姿勢を大切にしたい。来年度、新学習指導要領完全実施に伴い、学校が変わっていく時期である。そのことを念頭に入れ、開かれた学校を目指すとともに、学校、地域、保護者が連携し、教育目標である「一心に学び、高め合う子」の育成の具現化に向けて職員一同尽力していきたい。